

学校と家庭、地域を結ぶ

白布城だより 2022・夏

栃木県立真岡高等学校定時制課程
〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1
☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

●巻頭言●



ごあいさつ

教 頭 佐藤 成之

保護者等の皆様、並びに定時制後援会、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なご協力とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

私は今年度で真岡高校定時制勤務 16 年目を迎えました。今年は教頭という立場になりましたが、今まで通り、定時制生徒の現在と将来のために微力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本校定時制は今年度、1 年次生に 19 名の新入生、3 年次生に 1 名の転入学生を迎え、全学年 55 名の生徒でスタートしました。年度当初はぎこちなかった新入生もすっかり学校に慣れ、授業だけではなく、部活動に参加する生徒も出てきました。

コロナ禍ではありますが、今年も多く为学校行事を感染対策を行いながら実施することができています。5 月 11 日（水）に行われた PTA 総会では高橋会長はじめ、多くの保護者等の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今年度も授業参観との抱き合わせということで、授業の様子をごらんになられて、お子様の成長を実感していただけたと感じております。今後も授業参観を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

6 月 18 日（土）に定時制通信制総合体育大会が実施され、陸上競技部、卓球部、バドミントン部、柔道同好会の合計 9 名が参加しました。本校にとって 3 年ぶりの出場でしたが、生徒たちは日頃の練習の成果を十分に発揮してくれました。そのうちの 5 名が 8 月に行われる全国大会に出場できることになり、大変うれしく、また、誇らしく感じております。

7 月 5 日（火）に行われた定時制後援会理事会・総会では、温かいお言葉をいただき、たいへんありがとうございました。後援会の皆様の本校に対する期待と愛情を強く感じることができました。

また、今年度も、夏季休業中に保護者面談を実施するほか、2 学期には、10 月 26 日（水）から 28 日（金）にかけて修学旅行も実施の方向で動いております。今後も感染症対策を講じながらできることをできるだけやっていきたい所存であります。

荒井新校長の下、教職員一丸となって、生徒一人ひとりの成長のために努めて参りますので、保護者等の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■入学式

4 月 7 日（木）、講堂で全定合同による入学式が挙行されました。3 年連続コロナ禍での式となりましたが、真岡高等学校の伝統を受け継いだ厳かな式典で、佐藤 務 同窓会長様、鈴木 定男 定時制後援会長様、大足 篤志 全日制 PTA 会長様、高橋 三高 定時 PTA 会長様のご臨席を賜りました。

荒井 博文 校長が、定時制 19 名の新入生を含む 219 名の新入生に対して、「みなさんが積み重ねてきた努力を讃えたい。返事に込めた力はすばらしかった。今日のこの感動を今後に生かしてほしい。」と、夢と希望に満ちた高校生活を期待する旨の話をされました。また、本校の校訓である『至誠』の精神にも触れ、「卒業生 24,000 人の人間形成の普遍的理念であり続け、本校で学んだことを社会で結実させ、多くの分野で優れた人材を輩出してきた。」特に定時制新入生に対し、「今年度は、夕夜間制移行 4 年目。昼間はアルバイト、夜は授業に励み、高い出席率、高い就職率を誇る。多忙な中だからこそ、仲間とのコミュニケーションやチームワークを図ってほしい。」と、温かいまなざしを向けられました。

その後、定時制課程の保護者と生徒は、教室に移動してオリエンテーションを行いました。期待と不安が入り混じった朝の表情から一転、「仲間と共に歩んでいくんだ。」という、安堵と希望に満ちた表情が見られました。



■離任式・新任式

4 月 8 日（木）、記念館講堂。この日は例年、慣れ親しんだ人との別れ、新しい人との出会いが交錯する日です。離任された前橋 均 前校長は宇都宮女子高等学校校長に、植竹 暁 前教頭は県教育委員会総務課へ、国語科の大谷 武 先生は、本校定時制を最後に退職され、宇都宮市役所で文書編纂の仕事に就かれるとのことでした。

前校長先生は、「コロナ時代の同士、温かい先生・友達・給食。真岡は皆の故郷になる。しっかり根を据えて、花を咲かせてほしい。」と、言葉を掛けられました。

前教頭先生は、「竹は種を植えると 3、4 年は 2～3 cm の状態のままであるが、その時期を過ぎると 1 年で 15m 成長する。3～4 年は地中で根っこを生やしている。人間の努力にも相通じる。勉強もスポーツも急にできるようになる。竹のようにしなやかに対処してほしい。」と、お名前に由来する竹の話をされました。

大谷 先生は、「『思動』すなわち事前に準備して事に当たることの大切さ、授業前にページを開いて授業に臨んでほしい。また、昨年度の生徒指導ゼロはみんなの頑張りだ。これを伝統にしてほしい。」と、本校在籍 12 年の思いを語られました。

そして、本校 15 年、長く生徒指導部長を務められた佐藤 成之 教務主任（保健体育科）が教頭に昇任されました。次に小山北桜高校から村上 武 先生（国語科）が着任され、生徒指導部長として尽力されます。お若い頃、定時制課程に勤務された経験があたりだとのことです。また、今市工業高校から片岡 辰哉 先生（保健体育科）をお迎えしました。柔道が専門で、かつて自衛隊体育学校におられたとのことです。集会等の司会や柔道同好会の顧問を務められます。どうぞよろしくお願いします。



■第1学期始業式

4 月 8 日（木）、記念館講堂で第 1 学期始業式が行われました。荒井 校長は開口一番「入学式では緊張のあまり、マスクをはずし忘れたので、これが私の素顔です。」と、場を和ませました。「これまで県教育研修センター生涯学習部に所属していた。一般人も対象で、大人も勉強する。欠席・遅刻も必ず連絡をくれた。部署が変わったので研修に来るし、英語が必要になって研修に来る。昨年サボってしまった、今年再度来る。勉強はいつでも始められる。みなさんは今年 1 年どんなふうに過ごそうとしているのか？自分の道標を作って、学校生活を送ってほしい。」と、期待を込めたメッセージを送られました。



■本校創立記念日

4 月 20 日（水）は、真岡高等学校の創立記念日、明治 33 年に開校した本校は、120 有余年の歴史を誇ります。その当時は、真岡町民（現真岡市民）の熱意ある嘆願によって栃木県が動き、資金の半分を町民の私財寄付によって本県 3 番目の旧制中学校（栃木県第三中学校）が誕生したとのことです。

本校は、かつて「白布城」というお城があったことが記録に残っており、歴史に名だたる場所で学ぶ私たちは、一人一人が白布健児の誇りをもって歩んでいきたいものです。

記念講演会は、4 年次が講堂で 1～3 年次が配信により各教室で、本校 OB で医師の松本 滋 先生により、『学問のすすめ—知らないものは見えない』と題してご講演をいただきました。高校時代、生物部の合宿で尾瀬キャンプに行かれた際、「1 年次はただ行っただけで、花の名前ひとつ知らなかった。2 年次は植物図鑑片手に行ったため、植物の名前を知ることができた。3 年次は後輩に名前や詳細を教えることができた。知識を得るには、集積・分類・伝達が重要であることがわかった。」とのお話が印象に残りました。著書の『言葉の風景』が定時制図書室に寄贈されたので、一度手に取ってみてください。

■交通講話

4 月 22 日（金）、記念館講堂で交通講話が行われました。真岡警察署交通課の須田 和典 交通課長様をお招きして、「交通マナーの遵守」の講話や DVD を視聴しました。「自転車は静かな車である。」とのお話はたいへん印象的でした。

続いて吉井 警備課係長様から、オウム真理教の後継団体が SNS を通じて信者拡大を画策しており、十分注意が必要とのお話を伺いました。当時と現在の若者の、社会に対する不安感が増大している点において、共通項があるのではないかとのご分析でした。

■校内防火防災避難訓練

5 月 6 日（金）、地震発生により事務室から出火したとの設定で、各教室より体育館までの避難訓練が行われました。速やかな移動と 3 分以内での整列完了ができました。佐藤 教頭から「火災時は窓を閉めることを忘れない。また、一酸化炭素中毒は『見えない、嗅げない、聞こえない』脅威であり、スマホ等を忘れたからといって現場に戻ってはいけません。『おはしも（押さない、走らない、しゃべらない、戻らない）』は鉄則である。」との講評をいただきました。

■授業参観・PTA 総会

5 月 11 日（水）、授業参観・PTA 総会が開催されました。総会に先立ち、金壽 ひろみ 監事が本校応接室にて会計監査を行いました。総会は高橋 三高 会長の議事により、滞りなく進行了。最後に、令和 4 年度の役員人事が、次の通りに決まりました。

会 長	高橋 三高 様(3年次・再)	副会長	川田 希 様(2年次・新)	監 事	金壽ひろみ 様(3年次・再)
理 事	細谷 恵子 様(4年次・新)	理 事	坂本 初江 様(4年次・新)	理 事	西谷 明美 様(2年次・新)
理 事	篠崎 亜希 様(1年次・新)	理 事	黒須 啓介 様(1年次・新)		皆さま、1 年間よろしくお願いします。

■生徒総会

5 月 13 日（金）、記念館講堂で生徒総会が開催されました。司会進行をピント ジオ 君（3 年次）、議長・副議長を小嶋 咲良 さん（4 年次）・橋本 英輝 君（2 年次）が担当、赤羽 ひろみ さん、福田 真美 さん、細谷 正輝 君（4 年次）宮城 賢治 君、金壽 光稜 君、八谷 花梨 さん（3 年次）鈴木 乃愛 さん（2 年次）が係を務めました。

議事は滞りなく進行・承認され、今年度の本校定時制の基本計画が承認されました。収支報告の質疑の川田 人希 君（2 年次）の適切な質問を始めとして、生徒達が真摯に取り組む姿に、今年度の明るい定時制の未来が見えたようでした。

■情報モラル教育

5 月 20 日（金）、記念館講堂で情報モラル研修会が行われました。県総合教育センターの斎藤 雄一郎 先生をお招きし、「自分と相手を思いやる情報モラル～ネット社会を楽しく安全に活動するための正しい知識を身に着ける」と題して、講話をいただきました。

「SNS に許可なく、他人の写真を載せることが肖像権の侵害につながる。SNS で個人情報・位置情報の特定の危険が生ずる。SNS を通じた出会いの危険性が予想される。また、一度情報が流失すると、半永久に回収不可能に陥ることの比喩表現“デジタルタトゥー”」など、一層の注意の必要性を痛感しました。

次に、WHO によると「ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる『ゲーム障害』は、国際疾病として正式に認定されており、特に中高生のネット依存は 93 万人を超え、自身をコントロールするのが困難な状況に陥る危険性がある。自らを守るために、リスクの見積

もり力（危機予測）を高めることが大切である。」と結ばれました。

■新体力テスト

5月23日（月）、グラウンドで50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ、体育館で握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・シャトルランが行われました。男子のシャトルランには4年次担任の岡野 晃 先生（数学科）も飛び入り参加し、陸上部の健脚、岡本 悠 君（3年次）と最後まで競い合っていました。

■国際理解教育

6月3日（金）、記念館講堂に宇都宮共和大学の星 順子 先生をお招きして、「異文化コミュニケーションのすすめ - 異なる他者との出会いから -」と題して、多文化共生に必要な異文化コミュニケーションについての講義をしていただきました。

先生は国際協力隊員を始めとして、イスラム世界に長く滞在していた経験があり、人は誰しも「自分の文化」を中心にものごとを判断しがちで、そこにステレオタイプと偏見が生じてしまいがちだと話されました。

これは何も国籍・地域・文化・言語・宗教に限った話ではなく、ジェンダー・年齢・仕事等にも起こり得る問題であり、一度イメージを持つと、相手を理解することすらしなくなる傾向を持つとのことでした。

身近な場面でも、他者は自分とは異なる視点が存在することを知り、多様な価値観を受け入れて適応することができる自分自身でありたいと考えさせられました。本校生にとって、教室での交友において役立つヒントが隠された話でした。

■第1回進路ガイダンス

6月10日（金）、TBC 学院の各分野 24 名の講師陣をお招きして、全校生対象の「進路ガイダンス」が開催されました。記念館講堂で全体説明を受けた後、各教室に分かれ 20 種の職業別体験型ガイダンスを二コマ受講しました。内容は動物、メイク・ネイル、保育、理美容、e スポーツ、ファッション、公務員、自動車等多岐に渡り、将来の自分の進路決定に向けて、真剣に話に聞き入り体験に目を輝かせていました。「楽しかった。オープンキャンパスに参加してみたい」等の感想も多く、好評でした。

■県高等学校定時制通信制総合体育大会

6月18日（土）、陸上競技部が大松山運動公園、卓球部が宇都宮工業高校、バドミントン部が南河内体育センター、柔道同好会が宇都宮高校で開催されました。まずは陸上競技部、菅野 秀紀 君、宮城 賢治 君（3年次）が男子円盤投げで第1位・2位に、岡本 悠 君（3年次）が男子1500mで第3位、八谷 花梨 さんが女子200mで第1位、女子400mで第3位。卓球部は男子シングルスで野澤 尚史 君（3年次）が4回戦までを勝ち抜きベスト8、金壽 光稜 君は1回戦敗退でした。バドミントン部は男子シングルスで河原 凱大 君（4年次）・ビント ジオ 君（3年次）は1回戦を勝ち抜き、2回戦に進出しました。柔道同好会の檜山 竜之介 君（1年次）は男子75kg以下級第1位、男子無差別級第2位に輝きました。

全国高校定時制通信制総合体育大会は、陸上競技が8月1日に駒沢オリンピック公園、柔道が8月7日に講堂館で開催されます。

祝 全国大会出場おめでとう！

陸上競技部 菅野 秀紀 君（3年次） 男子円盤投げ第1位 宮城 賢治 君（3年次） 男子円盤投げ第2位
八谷 花梨 さん（3年次） 女子200m第1位、女子400m第3位 岡本 悠 君（3年次） 男子1500m第3位
柔道同好会 檜山 竜之介 君（1年次） 男子75kg以下級第1位、男子無差別級第2位、団体（栃木県チーム）

～定通総体を終えて～

陸上競技部 部長 岡本 悠（3年次）

定通総体は部として全体的に良い結果を出すことができました。その要因は、日々のルーティーンとなった練習を着実にこなしていったからだと思います。だからと言って、難しいことやハードな練習を毎日行ったわけではなく、自分の限界を徐々に上げていく練習を週3回着実に積み重ねてきました。部全体の技術・体力が向上したため、多くの部員が全国大会に出場できたのだと思います。



卓球部 部長 野澤 尚史（3年次）

私たちは3年生3名に増え、顧問の石川先生と片岡先生のご指導の下で週4日活動しています。活動時間は7時30分から9時45分まで活動しており、常日頃から大会に向けて技の習得や強化を図っています。

定通総体は宇都宮工業高校で開催され、野澤と金壽が個人戦に出場しました。野澤が3勝を挙げベスト8進出、金壽は1回戦で惜敗しました。個人のベスト8進出の結果は、部員全員が弱点克服に向けて切磋琢磨した成果の表れだと思います。

バドミントン部 部長 ビント ジオ（3年次）

定通総体では河原さん（4年次）と僕は、各々初戦を勝ち抜き2回戦で敗退しました。念願の一勝を上げ勝利の喜びを味わえた他、毎日の努力の積み重ねの大切さを実感することができました。先輩は今大会で引退となりますが、今後は新しく入部した部員とともに定通総体や秋季大会に向けて頑張っていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

柔道同好会 部長 檜山 竜之介（1年次）

定通総体で優勝できたことがとてもうれしいです。指導して下さった片岡先生といつも応援してくれた母に感謝しています。

ふだんの部活動は木曜日と日曜日の休養日を除き週5です。部員は僕だけですが、練習予定表を作ってくれ他校に出稽古に連れて行ってくれます。練習メニューはランニング、筋トレ、柔道着を着ての稽古等、飽きがないように考えてくれます。今年は僕一人だけど、来年は新しい部員が入部してくれることを願って、練習に励んでいきたいと思っています。



■性に関する講話

6月24日（金）、記念館講堂で芳賀赤十字病院の産婦人科看護師長、矢島 悟子 先生をお招きし、「生と性に関する講話」が行われました。勤務されている産婦人科では、助産師としても生命の誕生に関わっていらっしゃいます。先生は、「性のパートナーとの関係は、相手を尊重して対等な関係でいられることが必須である。高校でお互いの立場を尊重する知性を身に付けてほしい。」と結ばれました。

■定時制後援会理事会・総会

7月5日(水)、理事会・総会に先立ち、応接室にて株式会社ホンデン製作所様と常陽銀行様の寄贈サービス付私募債「未来の夢応援債」で40万円相当の寄贈をいただき、その目録の贈呈式が行われました。そして、監事の齊藤 敏彦 様と二瓶 修治 様が監査をしてくださいました。

その後、記念館1F会議室にて定時制後援会理事会が、続いて記念館2F講堂において定時制後援会総会が行われました。多くの会員の方にお集まりいただき、鈴木 定男 後援会会長様の司会進行によってスムーズに会が進行しました。

事業報告の質疑で、副会長の小池 敏之 様より、部活動での躍進に感心したとのお言葉をいただきました。収支報告の質疑で、会員で元本校校長の菊地 透 様から、「繰越金があったが、年度内で定時制教育に役立ててもいいのではないかな。特に定通総体全国大会では選手に栄養のつくものを食べさせてやってください。」と温かな労いの言葉をいただきました。

総会の後、記念館2F講堂西側のホールに掲額された創立当時の学年・クラス写真を皮切りに、1階に降りて旧校長室、第1・2展示室を見学しました。会員の皆さまには本校の卒業生も多く、多くの思い出話や裏話までも披露され、終始和やかな雰囲気の下、閉会となりました。令和4年度の新役員は次の通りです。皆さま、1年間よろしくお祈りします。

会 長 鈴木 定男 様 (株式会社 山都)

副会長 二ツ森 康明 様 (宝栄工業株式会社)

副会長 小池 敏之 様 (真岡工業団地総合管理協会)

監 事 齊藤 敏彦 様 (株式会社 ホンデン製作所)

監 事 二瓶 修治 様 (富士ファイバー株式会社)

■第2回進路ガイダンス

7月7日(木)、中央アートスクール、中央福祉医療専門学校、EIKA 美容専門学校、晃陽看護栄養専門学校、さくら総合専門学校、栃木県立県央産業技術専門校の各分野11名の講師陣をお招きして、全校生対象の「第2回進路ガイダンス」が開催されました。記念館講堂・多目的室・各教室で、就職1グループ、進学9グループ(工業・医療・食物・美容・福祉等)の職業別体験型ガイダンスを二コマ受講しました。今学期2度目の体験のため、講師の方との積極的なやりとりが見られました。特に、救急救命士が行う応急処置を、授業で使用している人形を使って体験していました。

■生徒会役員改選

7月8日(金)、記念館講堂にて生徒会役員選挙が行われました。今年度は、生徒会長候補(当選1)に1名、副会長候補(当選2)に1名の立候補があり、立会演説会は奇をてらった公約を掲げる者もなく、学校の未来を真剣に考えた演説で立派でした。信任投票になりましたが、一般の選挙と同様に、選管でお借りした選挙用器材を使って投票体験をしました。新役員は次の通りです。

生 徒 会 長 ビント ジョ 君 (3年次)

副 会 長 宮城 賢治 君 (3年次)

■校内生活体験発表会

7月15日(金)、記念館講堂において「生活体験作文発表会」が開催されました。昨年に引き続き、PTA会長の高橋 三高 様にも審査員に加わっていただきました。生徒中心の運営をモットーに、司会進行の1年次の柴田 伴香 さん・小笠原 颯汰 君を始めとして、赤羽 ひろみ さん、小嶋 咲良 さん(4年次) 高橋 明 君、八谷 花梨 さん、ビント ジョ 君、渡辺 一花 さん(3年次) 森島 直也 君(2年次) 篠崎 遼 君、千葉 陽翔 君(1年次) が実行委員として活躍しました。

荒井 校長は挨拶の中で、「選外生徒の作品も、この後全部読む。」と述べられました。講評では、冒頭で「聞いているみなさんの態度はすばらかった。」と、そして発表者に向けては、「初めは審査として聞いていたが、途中で聞いていることが大切な時間だと感じるようになった。」と、最高の賛辞を贈られました。

最優秀賞に輝いた神谷 咲羽 さんは、「父親と3日間かけて練習した成果が出ました。」と笑顔で答えてくれました。10月15日(土)に宇都宮工業高等学校で行われる県高等学校定時制通信制文化発表会の本校代表になります。結果は以下の通りです。

最 優 秀 賞 神谷 咲羽 さん(3年次)『笑顔の原動力』

優 秀 賞 橋本 英輝 君(2年次)『これからの自分』

坂本 明日夏 君(4年次)『第一話』

優 良 賞 細谷 正輝 君(4年次)『今の私があるのは』

栗田 蒼生 君(1年次)『小・中学校での反省や感じたこと』

岡本 悠 君(3年次)『私が公務員を目指す理由』

橋山 竜之介 君(1年次)『中学校までの私』

■校内体育大会

7月19日(火)、校内体育大会(バスケットボール・バドミントン・卓球)が本校体育館で行われました。大きく体調を崩す者も怪我をする者もおらず、精一杯競技に打ち込んでいました。多くの生徒が、「体育の授業で積み上げた技術を発揮できた。」と、感想を述べていました。結果は以下のとおりです。2学期の始業式で表彰の予定です。

●バスケットボール 優勝 2年次 準優勝 3年次 第3位 1年次

●バドミントン 優勝 ビント ジョ 君(3年次) 準優勝 東 斗和 君(1年次) 第3位 河原 凱大 君(3年次)、見目愛里沙さん(1年次)

●卓球 優勝 金壽 光稜君(3年次) 準優勝 野澤 尚史 君(3年次) 第3位 勝田 大翔 君

■第1学期終業式

7月20日(水)、猛暑の最中、記念館講堂において第1学期の終業式が行われました。

荒井 校長は冒頭で、生徒達に『必頭滅却すれば火自ずから涼し』という言葉を示されました。これは、「集中すれば、周囲の雑音は気にならない、どこでも修行できる。」という意味であり、「暑くても精神力で乗り越えられる。」という意味ではないにもかかわらず、最近はこちらの意味で使われることが多いようだ。」

重ねて「これから夏休み。自由に使える時間が増える。何か一つ、集中してやってみよう。本を読む、運動する、アルバイトする、趣味に没頭する、でもいい。それが、今年の夏、時間を有効に使う鍵になる。一日は24時間。誰でも一緒。どう使うかは君次第。」と、結ばれました。

私たちは日頃何気なく過ごしてしまいがちで、今回の校長先生の話をお聞きし、『ハッ』とさせられた方は少なくないでしょう。この夏季休暇中の成果を、ぜひ第2学期以降に発揮してほしいと思います。

●クラス関係一覧(敬称略)●

学年次(正担任・副担任)	在籍	出席率	皆勤	皆勤賞
1年次(夕) 正 横川 航一(数学科・情報科) 副 村上 武(国語科)	19名	83.2%	3名	小笠原 颯汰、栗田 蒼生、 見目 愛里沙
2年次(夕) 正 河上 敦朗(国語科・芸術科) 副 片岡 辰哉(保健体育科)	8名	80.0%	1名	水上 拓海
3年次(夕・夜) 正 篠原 義勝(理科) 副 江田 諭(英語科)	16名	92.0%	5名	岡本 悠、高橋 明、瀧澤 一 樹、野澤 尚史、ピント ジオ
4年次(夕・夜) 正 岡野 晃(数学科) 副 小森 法史(英語科)	12名	84.8%	2名	細谷 正輝、赤羽 ひろみ

※「真岡高等学校定時制ホームページ」御覧になりましたか！



本年度よりほぼ毎週更新しており、生徒の活動の様子が写真付きで掲載されています。また「給食室より」では、森田 彩子 学校栄養士により栄養豊富なメニューが写真付きで毎日更新されています。

以下のURL (<http://www.tochigi-edu.ed.jp/moka/>) を直接入力するか、QRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取ってアクセスしてください。



※「図書だより2022 夏号」が生徒に配付されています。保護者等の方もご覧ください。

夏休みを前に、図書委員の河原 凱大君(4年次)・瀧澤 一樹 君・神谷 咲羽 さん(3年次)・南部 玲弥 君・塚田 心美 さん・長谷 希花 さん(1年次)が寄稿してくれた『思い出の一冊』を中心に、年三回発行予定の委員会報「図書だより2022 夏号」が生徒に配付されました。図書室最多利用回数部門で見目 愛里沙 さん(1年次)、最多貸出数部門で塚田 心美 さん(1年次)が紙上表彰されています。

★白布のかぜ～あとがきに代えて～

夏真っ盛り、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素から定時制教育にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

執筆時期の7月上旬に時を戻します。庭を見れば、ひまわりが3～4mを優に超え、お日様のように輝いています。同時期に蒔いたフォックスフェイスはいまだ5～10cm程度、雑草にまみれて存在感を消しています。

フォックスフェイスは春まき一年草として栽培され、草丈2mにまで成長します。秋に実る黄色の果実を観賞します。果実はその形がキツネの顔に似ていることから「フォックスフェイス」と呼ばれます。

秋になり、フォックスフェイスが人目を引くキツネ顔の実をつけている頃、ひまわりはその役目を終えて、種がほころびに任せた残骸と化しています。

前者は先行して成長し、後者は栄養分をためにためて、爆発的に2mにまで成長、結実します。生徒の成長速度の多様さに相通するものがあると思います。

今年も、暑い夏がやってきました。「コロナ禍」も3年目を迎えました。生徒の皆さん、「我慢の時期」を「雌伏の時期」に換えて、実力を養いながら活躍の機会をじっと待ち、将来大きく羽ばたいてほしいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、そして私たち教職員、真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく第2学期を迎えられますことを祈念しております。(渉外部)